

令和2年2月13日

## 令和1年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 地域創生戦略企画室（生物資源学研究科兼務）

氏 名 教授 坂本竜彦

活動テーマ	「地域の海をよく知る地域の人々が地域の子どもたちに海を教える」～三重県南部における地域産業振興と結びつけた自然資源を活用する地域人材育成事業
実施期間	平成31年4月1日 ～ 平成34年3月31日
活動内容	<p><b>(1) 具体的な活動実施内容+ (5) イベント等開催実績 (名称, 実施場所, 参加人数等)</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・南伊勢町, 2019年6月30日, 南伊勢町和田の浜, ビーチ清掃, 三重大生15名, 教員2名参加</li><li>・尾鷲市, 2019年第1回自然環境リテラシー学の連携実施(2019年8月26日～30日, 尾鷲市天満浦～小山浦). 尾鷲市, 特定非営利法人天満百人会, 尾鷲水産実験所, との連携で実施. 協賛には, 株式会社平野組, 株式会社伊藤工作所, 尾鷲物産株式会社, タケムラ有限会社, 株式会社金山パイロットファーム, 株式会社元気, 有限会社御浜柑橘, NPO法人天満浦百人会, 天狗倉山まるごとプロジェクト. 三重大受講生24名, 学生スタッフ7名, 教員5名, 自然環境ガイド6名, 計43名, 資料1参照</li><li>・南伊勢町, 2019年第2回自然環境リテラシー学の連携実施(2019年9月2日～6日, 南伊勢町宿田曾浦). 南伊勢町, 南伊勢町教育委員会の後援, 連携実施. 三重大受講生23名, 学生スタッフ7名, 教員4名, 自然環境ガイド9名, 計41名, 資料1参照</li><li>・尾鷲市, 一般公開レクチャーの実施(2019年8月26日, 天満荘), テーマ「自然環境リテラシーとは? 天気とは? 海気とは?」, 約100名の参加, 「海気を読む～海を感じる力」, 内田 正洋(海洋ジャーナリスト・海上保安庁アドバイザー・モンベルアドバイザー), 「海の上の道～3万年前航海で見たもの」, 鈴木克章(冒険家, ひるまのながればし, 3万年航海漕ぎ手), 「天気の移り変わりの科学」西井和晃(三重大学・気象解析予測学・准教授)</li><li>・尾鷲市, 2019年8月27日, 「僕らの遊び場づくり～木育, 山育, おわせいく～」, 八鬼山, 尾鷲市, 宮ノ上小学校(3年生, 16名), 小山ハウス, 尾鷲藪漕ぎ隊, 三重大学自然環境リテラシーの連携企画, 学生地域の方々含め, 約70名参加</li><li>・紀北町, 一般向けカヤック体験試乗会(2019年8月29日, 紀北町銚子川), 自然環境リテラシー学参加学生による, 一般市民への体験試乗の実施, 約30名の参加</li><li>・南伊勢町, 一般公開レクチャーの実施(2019年9月2日, 旧宿田曾中学校体育館), テーマ「あばばい南伊勢」, 「あばばい南伊勢」小山</li></ul>

巧(南伊勢町 町長)・片山 嘉人(南伊勢町 教育委員会 委員長), 「南伊勢高校 SBP のとりくみ」南伊勢高校生, 「漁師のいるゲストハウス～まるきんまるのとりくみ」伊澤峻希(南伊勢町地域おこし協力帯), 「南伊勢の魅力」田中希枝(海島遊民くらぶ), 約 80 名の参加。

- ・南伊勢町, 漁師との連携企画, 漁師体験ツアー, 2019 年 9 月 2 日, まるきんまる, 三重大生 7 名参加
- ・三重大学オープンラボでのポスター発表, 村山夏紀, 赤土正展, 山本康介, 坂本竜彦「地域の海をよく知る地域の人々が地域の子どもたちに海を教える～三重県南部における地域産業振興と結びつけた自然資源を活用する地域人材育成事業～」
- ・2019 年 10 月 27 日, 三重県博物館 Miemu フォーラム講演, 坂本竜彦「三重の自然をカラダ・ココロで体感・実感し, 素晴らしさ・大切さ・怖さを学び, 知らせ, 生きる力を育む～自然環境リテラシー学の展開」, 約 80 名参加
- ・2019 年 10 月 29 日, 三重大学地域拠点サテライト・東紀州サテライトセミナー第 6 回「よるしゃべ」, 天満荘, 「体感・実感、尾鷲～自然環境リテラシー学」坂本竜彦・長谷川真乃・松井美樹, 参加者 46 名
- ・2019 年 11 月 9～10 日, 2019 SEA TO SUMMIT in 紀北, 参加者およびスタッフとして参加, 学生 20 名, 教員 2 名
- ・2019 年 12 月 14～15 日, 三重大学・三重県総合博物館・博学連携企「体験! 実感! 三重の自然! ～自然環境リテラシー学のすすめ～」 「海を知る」ことは「生きる力」を育てること」, 主催: 三重大学共生環境学科・地域連携戦略企画室, 共催: 東北マリンサイエンス拠点形成事業 (TEAMS), 自然環境リテラシー参加学生, 教員, 51 名, 参加者 196 名
- ・尾鷲市, 2019 年 12 月 27 日, 八鬼山・ニコニコ公園, 山道整備, 自然環境リテラシー学生 7 名, 尾鷲市・尾鷲藪漕ぎ隊・小山ハウス 10 名

#### 【今後】

- ・2020 年 2 月 23 日 「みえむ熊野市かがく・こうさくフェスタ」, 三重県総合博物館, 熊野・熊野市文化交流センター
- ・2020 年 3 月 14 日, 「三重まるごと自然体験フェア」, 三重県, 松阪・子どもの城
- ・2020 年 3 月 24 日 「鳥羽海藻文化祭」, 鳥羽市, 鳥羽・海の博物館
- ・2020 年 4 月 18 日, 「県民フェア～伝えよう、みえの豊かな食と緑! 東京 2020 大会を舞台に ～食べる・遊ぶ・学ぶ～」, 三重県, 津・三重県総合文化センター

#### (2) 地域への貢献(地域の発展・活性化への寄与, 広がり)

自然環境リテラシー学を実施し, そこに参加・成長した学生たちが地域に入ることによって, 尾鷲市においては, ①尾鷲市が主体として実施する「僕らの遊び場づくり～木育, 山育, おわせいく～」において, 宮ノ上小学校 16 名の 3 年生とともに, 自然を学ぶとりくみを展開することができ, このとりくみは, 安藤百福財団・トムソーヤプロジェクトにおいて「奨励モデル特別賞受賞」を受賞することができた。この取り組みを契機に, 尾鷲市とは, R2 年度に, 尾鷲市・三重大学連携事業として「“森の国” 尾鷲の自然環境人材育成事業」を検討している。

南伊勢町では, 南伊勢町教育委員会と, 地域で小中学校でとりくんで

いる「ふるさと教育」について共同実施していこうという合意が生まれたている。R2年度に、南伊勢町・三重大学連携事業として「“海の国～南伊勢町”の自然環境活用人材育成」を検討している

紀北町とも、自然環境リテラシーの銚子川での実施・カヤック体験実施の実施、2019SEA TO SUMMITでの三重大の活躍を受けて、紀北町・三重大学連携事業「“森・海・清流の国～紀北町”の自然環境人材育成事業」を検討中である

### **(3) 共同実施者との連携状況**

・南伊勢町とは、R1年度、共同研究「自然環境活用人材育成・アウトドア地域産業創出」に関する南伊勢町・三重大学連携事業、契約. 948,500円、R2年度も継続の意向。南伊勢町教育委員会とは、地域で小中学校でとりくんでいる「ふるさと教育」との垂直連携をR2年度、行うことで合意・展開計画中

・明和町より新たに委託事業「明和町における自然体験プログラムの開発に関する委託研究」、R1年度

・R2年度、尾鷲市、紀北町、南伊勢町との連携事業のもとでの委託事業・共同研究を締結予定

### **(4) 大学の教育・研究成果のかかわり**

・実習に参加した学生は、「自然環境リテラシーがあったから三重大のに来て良かった」「三重の自然の豊かさを知ることができて本当によかった」などの意見が出されており、この実習の教育的意義が深いことが示されている。

・自然環境リテラシー学は、持続可能な社会に向けた新たな学問体系の創出に役立つと考えられる。自然環境に関わる、地質学、地理学、気象学、海洋学、河川学、生物学、生態学、農学、林学、水産学などの統合的な分野として、人々の生きる力を育む学問となりうる。その意味における実践がはじまっており、地域連携がその土台となっていくと確認している。

**(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について**  
上述を参照。